

「新海洋混合学」国際活動支援成果報告書（2019年度分）

GEOTRACES と連携した国際共同研究の推進

～日本海洋学会秋季大会 SCOR-GEOTRACES ジョイントセッション～
海洋における微量元素・同位体の生物地球化学：from GEOSECS to GEOTRACES

2020年3月28日

計画研究班名：

申請者氏名・所属・職名： 張 勁・富山大学・教授

申請者連絡先 電話・メール：076-445-6665・jzhang@sci.u-toyama.ac.jp

対象者氏名・所属・職名： 張 勁・富山大学・教授

対象者連絡先 電話・メール：076-445-6665・jzhang@sci.u-toyama.ac.jp

相手先氏名・所属・職名：

1. Mariko Hatta

University of Hawaii, oceanographic research specialist,
School of Ocean and Earth Science and Technology (SOEST)
Affiliate Graduate Faculty, University of Hawaii,
Email: mhatta@hawaii.edu
Tel: +1-808-956-6632
Address: 1000 Pope Rd, MSB 509, Hawaii, HI 96822 US

2. Chandranath Basak

California State University, Bakersfield, Assistant Professor
Email: cbasak@csu.edu
Address: 9001 Stockdale Hwy, Bakersfield, CA 93311, US

3. Chen-Tung Arthur Chen

National Sun Yat-sen University, Sun Yat-sen Chair Professor, Taiwan (Past
IGBP SC Vice-Chair)
E-mail: ctchen@mail.nsysu.edu.tw
Tel: +886-7-5252000 ext.5136
Address: Department of Oceanography, National Sun Yat-sen University
Kaohsiung 80424, Taiwan, R.O.C

4. Zhimian Cao

Xiamen University, Associate Professor, Chian

Email: zmcao@xmu.edu.cn

State Key Laboratory of Marine Environmental Science,

Xiamen University

Address: XiangAn District, Xiamen 361102, China

申請項目（複数可、数字を記入）：1、 2、 3、 5

1. 国際共同航海の調整、 2. 拠点形成に関わる派遣・招聘、 3. 国際共同研究関連、 4. 研究者派遣、 5. 海外研究者招聘、 6. 研究技術研修、 7. 研究動向調査、 8. その他
()

申請課題名：「GEOTRACES と連携した国際共同研究の推進～SCOR/JOS GEOTRACES ジョイントセッション」

成果報告要旨：

富山県国際会議場で開催された 2019 年度日本海洋学会秋季大会において、「19-F8 : SCOR-GEOTRACES Joint Session Biogeochemistry of trace elements and isotopes in the ocean - from GEOSECS to GEOTRACES」の英語セッションを 2019 年 9 月 25 日に開催した。米国、台湾、中国より GEOTRACES 著名な研究者 4 名を招聘し、GEOTRACES に関わる共同研究計画の議論を行うとともに、海洋化学と海洋物理学の相乗効果による海洋科学の進歩への共通理解を深めた。

全体計画・計画研究・公募研究への寄与：

「海洋混合学の創設」(OMIX) は、海洋の鉛直混合の観測システムを構築し、親潮および黒潮の源流域から東北沖を中心とした北太平洋・縁辺海において、物理学・化学・生物学を併せた統合的な観測を展開することで、海の混合の実態と発生機構および物質循環、気候、生態系への影響を明らかにすることを目的としている。各国の GEOTRACES にかかわるキーパーソンを一堂に会し、最新の動向を紹介しながら直接の話し合いを行う場を設け、今後の更なる共同研究の強化や国際共同海洋調査計画の立案を図ることから、本申請は本研究領域の全般的な推進、特に今後の多国間協調による研究・観測計画策定に大きく貢献できると思われる。

制度の改善点・感想等：

年度内に生じた活動に対しても随時対応可能である本制度は、有意義に予算が執行できる面で非常に優れている。

実際の日程：

スケジュール・日程

2019年9月24（火） 来日後、東京から富山まで移動

9月25日（水） SCOR・日本海洋学会合同シンポジウム

9月26日(木)～27日（金） SCOR/JOS GEOTRACES ジョイントセッション

9月28日（土） 富山から東京へ移動、帰国

使用した予算内訳（旅費とその他の経費に分けて記述）：